

# 想いは届く、願いは叶う



東金市立北中学校 校長室から 第5号 令和5年7月6日発行

## 自然体験教室でたくさんの思い出をつくりました。

2年生が、6月28日（水）から30日（金）までの2泊3日で、山梨県・長野県方面に自然体験教室に行ってきました。

1日目。興奮して眠れなかったのか、朝早くから眠たい目をこすりながらも、学校に集合。2年生全員が元気に出発できました。

千葉から、東京をって山梨へ。あっという間に、車窓が山の景色に変わっていきます。

そして、昼食場所の「まきば公園」へ。弁当を食べた後、しばらく牧場の動物たちとの時間を過ごします。早くも気分は上々です。そして、宿泊施設の「国立信州高遠青少年自然の家」へ到着。周りを緑の木々に囲まれた公共施設です。早速、入村式を済ませて、自分たちのログハウスへと向かいました。この日は、本校以外にも利用する学校があり、混雑していました。

1日目のメインプログラムは、飯ごう炊飯です。飯ごう炊飯では、火起こしから、野菜のカット、米ときなど、全て自分たちでやらなければ、食事にありつけません。学校で練習した薪よりも太く、なかなか火が薪に燃え移らずに苦労した班もありました。それでも、さすが学校で2回練習しただけあって、手際よくカレーライスのできあがりです。どの班も、自分たちで作ったカレーライスの味は格別でした。特に釜で炊いたご飯は、とてもおいしかったです。この頃から雨が降り出し、初日はログハウスで過ごすことになりました。

2日目。前日からの雨も止んで、絶好のハイキング日和です。車山高原の途中までバスで行き、山頂を目指しました。ハイキングとは言っても、足元はゴロゴロとした石だらけ。上り坂が続くと疲れもあって息も苦しくなります。皆で励まし合いながら、全員が山頂までたどり着きました。眺めも最高で、心地よい汗をかきました。しばし休憩の後、帰り道はだらだらと続く下り坂。けがもなく、皆元気に下山しました。

昼食は、白樺湖畔。美しい湖の風景に心も洗われます。昼食後は、カヤック体験。インストラクターさんの講習を受けて、いざ湖へ。1人乗りと2人乗り、両方とも楽しめたようです。

自然の家に帰って夕食後に、キャンプファイヤーを行いました。係生徒の準備が終わって、オープニングセレモニー。わたしも、「火の神」として参加しました。トーチから点火された火が力強い炎となって、夕暮れのキャンプファイヤー場を照らします。ボンファイヤーでは、生徒が考えたゲームやスタンツ、フォークダンスで楽しい時間を過ごしました。スタンツでは、キレキレのダンスや歌などで最高潮の盛り上がり。そして、クローキングファイヤーでは一人ひとりが手にしたキャンドルに火を灯し、手元を見つめる、静かな時間が流れました。

3日目は、いよいよ自然の家とのお別れです。皆で施設の方にお礼を言い、高遠を後にしました。雨が降っていましたが、バスで山梨県に入る頃には止み、最後の体験場所の大月ベースキャンプに着きました。ベースキャンプでウェットスーツに着替え、いざ桂川渓谷へ。国際色豊かなガイドさんからレクチャーを受けて、ボートに乗り込みます。船頭役のガイドさんと一緒に激流を川下り。スリル満点のラフティングとなりました。ベースキャンプで昼食を食べて名残惜しみつつ、出発。談合坂SAでお土産もしっかりと買って、帰路に着きました。

帰り道の渋滞にはまり、予定帰校時間よりも遅れての学校到着となりました。たくさんの楽しい思い出を作って、生徒全員が無事に帰って来ることができて良かったです。初日は、班長さんの言葉からもいくつか反省の言葉が聞かれましたが、2日目以降は、学年全体の動きも良くなり、言葉に自信が出てきました。感謝の気持ちにする生徒の皆さんの姿からも、成長を実感することができました。特に、キャンプファイヤーを自分たちの手で創り上げ、皆で盛り上げたことは素晴らしいです。ハイキング、カヤック、ラフティングといった体験活動も満喫でき、学年共通の思い出ができました。

大自然の中での充実した3日間。皆さんに「ありがとう」を言いたいです。

この自然体験教室で学んだことを、これからの生活にも活かして欲しいと思います。